

市議団速報

HP <http://www.jcp-niigata-shigidan.com> No.288

2022年3月1日
日本共産党新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

Mail jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com

2月議会

コロナ禍で苦しむ市民の暮らしと営業に 光をあてる市政に転換を — 倉茂政樹議員が代表質問 —



代表質問を行う倉茂政樹議員

日本共産党市議団の倉茂政樹議員は2月24日、開会中の2月議会代表質問を行いました。その概要をお知らせします。

◆ ◆ ◆ 新型コロナウイルス対策等に対する 市長の認識と政治姿勢を問う

倉茂議員は、今年に入るまで政府が医学的な根拠もなく接種間隔を「原則8カ月以上」とし続けたことが、いまだにワクチン3回目の接種率がOECD諸国の中で最下位という水準を招いていると指摘し、接種の加速化ができるよう国にワクチン供給を求めるときだと市長の見解をたずねました。

また、緊急に重症化リスクの高い高齢者施設や保育所等への重点的な検査、定期的な頻回検査の体制を整えること、コロナ禍にもかかわらず病床を減らそうとする地域医療構想の撤回を国に求めること

とを求めました。

中原市長は「将来の医療需要を見据え、地域医療構想の議論を進めることは重要」と答えるのみでした。

「にいがた2キロ」 公共施設統廃合計画について

倉茂議員は、今後人口が減り運動者が減るなかで、新潟中央環状道路や万代島ルート線などの新たな道路が必要なのかと指摘した上で、「にいがた2キロ」（新潟駅—方代—古町を都心軸としてオフィスビル建設に補助金を出すなど再開発を促進）について、いつ現れるかわからない経済効果と税収を待つから住民福祉にはなく、いまコロナ禍で困窮している市民の生活に心を砕き、すぐに福祉・教育に予算を向けるべきだと指摘しました。

「どうして中心部だけなのか、合併地域は置き去りだ」という声も紹介し、にいがた2キロだけでなく、8区それぞれのアイデンティティを生かしたまちづくりを同時に進めるべきではないかと質しました。

公共施設統廃合計画について、コロナ禍で自治協への説明もままならないままパブリックコメントを締め切ったが、市民に多大な影響を及ぼすこの計画は市民に対する丁寧な説明が大前提だと指摘。パブリックコ

メントを再度行うこと、コミ協や施設利用者との意見交換を何度も行い、住民の意思を計画に反映させることが必要だと述べました。

中原市長は、「にいがた2キロ」について「都心と8区の魅力・強みのコラボレーション」などと抽象的な答弁。公共施設統廃合については「地域の皆様と丁寧な議論を進めながら、施設の再編を進める」との答弁でした。

中小事業者・農業者に支援を

地域経済を支えている中小事業者がコロナ禍をしのげるよう、事業復活支援金を持続化給付金並みに引き上げることや、家賃支援給付金の復活を国に求めることをはじめ、支援の強化を市長に迫りました。

また、コロナ禍での米価暴落について、余剰米を政府の責任で市場から隔離するとともに生活困窮者への支援とすべきだと述べ、家族農業への支援こそが持続可能な農業となり、自然豊かな田園地域を支えるとし、「踏ん張る農家支援事業」とでも銘打った家族農業への支援を求めました。

中原市長は、コロナ禍での中小事業者支援について「国に対し既存支援策の期間延長、要件緩和、

再給付も含め、継続して要請を行っていく」と答弁しました。

個人の尊厳を尊重する市政に

高すぎる国民健康保険料の引き下げ、国民健康保険料の子どもの均等割減額の対象年齢を拡大し廃止をめざすこと、保育士・放課後児童クラブ支援員などのケア労働の処遇改善を求めました。

佐渡金山の世界遺産登録申請 に対する市長の認識について

倉茂議員は、日本共産党は佐渡金山が世界文化遺産に値するものだと考えていると表明。同時に、佐渡金山は世界文化遺産として負の歴史も含め400年全体の歴史を示されなければならぬと指摘しました。

太平洋戦争末期に朝鮮人の強制労働が行われたことについて、新潟県史は「名称こそ『募集』『官斡旋』『徴用』と変化するものの、朝鮮人を強制的に連行した事実においては同質であった」と記しているとし、「歴史戦」などと称して、この負の歴史を否定しようという動きが世界遺産登録への障害となりかねないと警鐘を鳴らしました。

市長として太平洋戦争末期の朝鮮人強制労働の事実を認めるのかどうか、また、政府は佐渡金山の世界遺産への登録申請をするならば、戦時中の負の歴史もきちんと認めるべきではないかと、認識を質しました。

中原市長は、「佐渡金山の価値について、国際的な理解が得られるよう、国において、しっかり取り組んでいきたい」と答弁するにとどまり、自らの認識を示しませんでした。